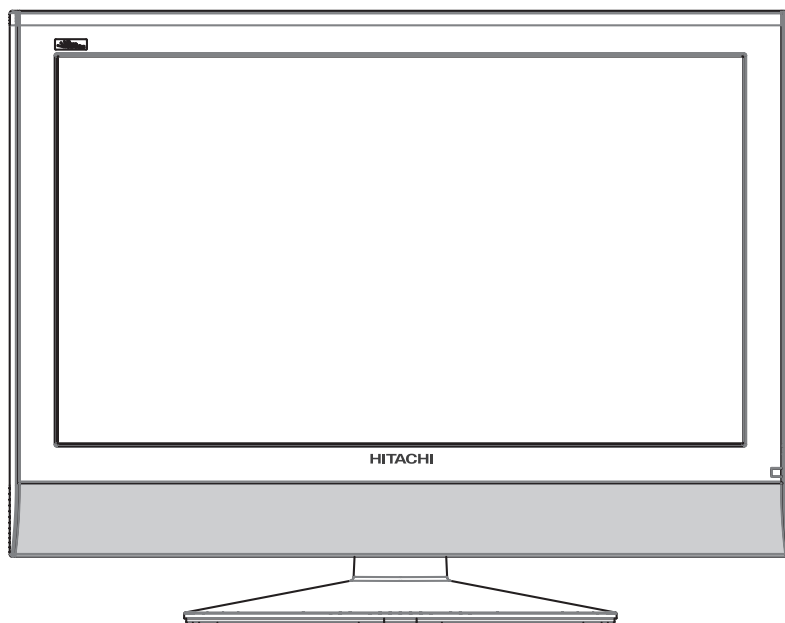
日立液晶テレビ
（地上・BS・110度CSデジタルチューナー内蔵）

形名
_W26L-H80_

取扱説明書

W26L-H80

このたびは日立液晶テレビをお求めいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書に記載の「使用上のご注意」をお読みください。本体の取扱いは、この取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。
お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

付属品について

付属品をご確認ください。万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。

■取扱説明書（本書）および保証書は、よくお読みになって内容をご理解の上、いつでも確認できるところへ大切に保管してください。

お守りください

●電源コードと電源プラグアダプターは、必ず付属品をお使いください。
●付属品の電源コードと電源プラグアダプターは、本機以外の電気機器には使用しないでください。

本書の見かた

この説明書は、主に下記の内容で構成されています。

この説明書で使用しているアイコンについて

⚠注意　安全上、守っていただきたいことを記載しています。

お守りください　操作上、守っていただきたいことを記載しています。

お知らせ　操作上、知っておいていただきたいことを記載しています。

メ モ　知っていると便利な操作・解説を記載しています。

カーソルボタンの記号について

本文中の操作説明では、カーソルボタンの押す方向を下図のように表して説明しています。

上下左右方向の操作　**左右方向の操作**

上下方向の操作　**左方向の操作**

上方向の操作　**右方向の操作**

下方向の操作

マークは、取扱説明書（本書）の参照ページを表しています。

各ページの見かたについて

もくじ

使用上のご注意

ご使用のまえにこの「使用上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

絵表示について　製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

	警 告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
	注 意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害を発生する可能性があります。

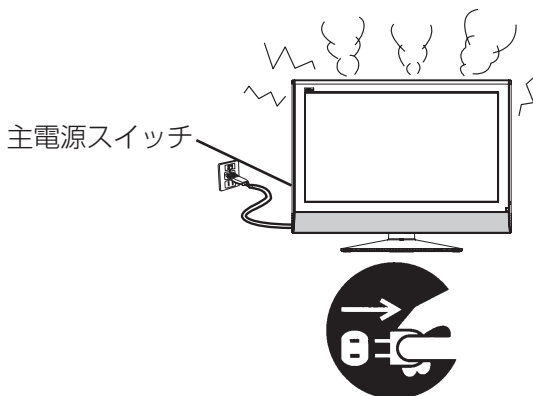
絵表示の意味

- 気をつけなければならない。「注意」を示します。
- 感電に気をつけなければならない。「感電注意」を示します。
- してはいけない。「禁止」を示します。
- 必ず行う。「強制」を示します。

安全上のご注意

警告

■ 異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く

電源プラグをすぐに抜くことができるように、容易に手が届く位置のコンセントをご使用して据え付けてください。

電源プラグをコンセントから抜くこと

異常、故障状態とは

●煙が出ている、へんな臭いや音がする

●画が乱れる・映らない、音がでない

●本機の内部に異物（水、金属など）が入ったなど

異常、故障状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。

すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

●イラストはイメージであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

警告

■ 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

■ 持ち運ぶときは衝撃を与えない、本機を落とさない

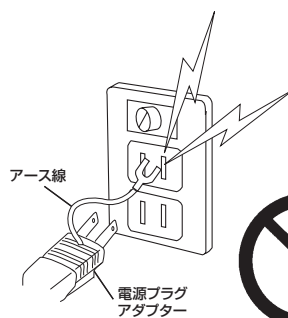
破損したまま使用すると、火災・感電・けがの原因となります。

■ 電源コードを本機の下敷にしない

コードに傷がついて火災・感電の原因となります。

■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流 100V（50/60Hz）以外では使用しない

たこ足配線など、定格を超えると発熱により、火災の原因となります。

■ アース端子を電源コンセントに差し込まない

アース線はアース端子以外には接続しないでください。
火災・感電の原因となります。

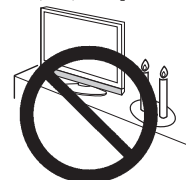
注意

■ 湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たる場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど。

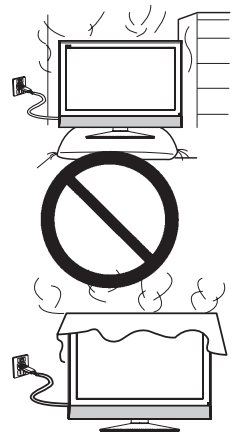
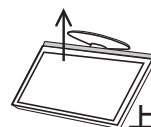
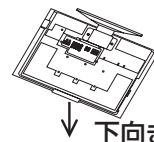
■ 電源プラグ、アンテナ線などの外部の接続線や転倒防止の処置をしたまま移動させない

火災・感電・けがの原因となることがあります。

■ 機器の近くにローソクなどの裸火を置かない

火災の原因となることがあります。

■ 電源プラグをすぐに抜くことができるように本機を据え付ける

本機が異常や故障となったとき、電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと火災・感電の原因となることがあります。
本機は主電源スイッチが切りの状態でも、極微弱な電流が流れています。

■ 通風孔をふさがない

火災の原因となることがあります。
通風孔を壁から 10cm 以上離して据えつけてください。（テレビを壁掛け設置する場合は除く）
特につぎのような使い方はしないでください。
- 本機をあお向けや横倒し、逆さまにする。
- 風通しの悪い狭い所に置く。
- じゅうたんや布団の上に置く。
- テーブルクロスなどを掛ける。

設置をするとき（つづき）

⚠ 注意

■ キャスター（車）止めをする

テレビ台にキャスター（車）がついている場合は、キャスター止めをする。

テレビが動いたり、倒れたりするとけがの原因となることがあります。

■ アンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください

- 送配電線から離れた場所に設置する。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
- 特に BS、CS 放送受信用アンテナは強風の影響を受けやすいので堅固に取りつける。

■ 転倒防止の処置を行う

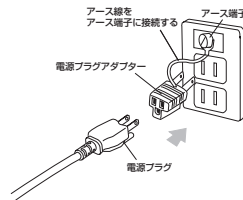
テレビが倒れると、けがの原因となることがあります。

■ 本機を医療機器の近く（同部屋）には設置しないでください。

医療機器の誤作動の原因になることがあります。

■ アース線を必ず接地する

安全のために必ず、アース接地してご使用ください。

アース線を接続せよ

- 2 極コンセント（アースなし）の場合は、アース工事が必要となります。アース工事は、販売店・電気工事店にご依頼ください。
- アース端子付コンセントの場合、付属の電源コードアダプターを使用し、アース線をアース端子に接続してください。
- アース接続は必ず、電源コードプラグをコンセントに接続する前に行なってください。
- アース接続を外す場合は、必ず電源コードプラグをコンセントから切り離してから行なってください。
- 電波障害や他機器への妨害、また、他機器からの妨害を受けない為にも、必ずアース線を接続してご使用ください。
- 電源プラグアダプターを使用する場合、電源プラグのアース線は、アース端子に接続してください。コンセント端子に差し込むと、感電や火災の原因となります。

使用するとき

⚠ 警告

■ 本機の上に花びんなどを置かない

水ぬれ禁止

本機の内部に水などが入ると火災・感電の原因となります。

万一、入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

- 花びん、水槽、植木鉢、コップ、化粧品、薬品などを置かない。
- ペットが乗らない様、ご注意ください。

■ 本機に水をこぼしたり、ぬらしたりしない

水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。

- 雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

■ 風呂場やシャワー室で使用しない

風呂場やシャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

■ 異物を入れない

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりすると、火災・感電の原因となります。

万一、入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

特にお子様にはご注意ください。

■ 裏ぶたやカバーをはずさない、本機を改造しない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

■ 電源プラグの刃や周辺に付着した埃や金属類を取り除く

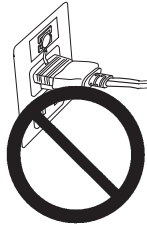
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

お手入れは、電源プラグを抜いてから乾いた布で行ってください。

警告

■指定の電源電圧で使用する

本体に表示された電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。

■電源コードを傷つけない

火災・感電の原因となります。
傷ついたら、電源プラグを抜いて販売店に交換をご依頼ください。
- 傷つける、破損させる、加工する、無理に曲げる、重いものをのせる、加熱する、引っ張るなどをしない。

■雷が鳴り出したら、アンテナ線や本機には触れない

感電の原因となります。

接触禁止

■衝撃を与えない

万一、本機を落したり、キャビネットを破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

注意

■電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱し火災の原因となることがあります。
また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

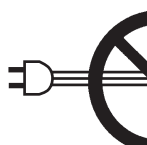
■電源プラグは、ゆるみのあるコンセントに差し込まない

発熱して火災の原因となることがあります。
ゆるみのある場合は、販売店に交換をご依頼ください。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

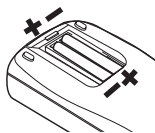
ぬれ手禁止

■電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

電源コードを引っ張ると電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

■本機に乗ったり、ぶら下がったりしない

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■間違った電池の使い方をしない

電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
特に、次の使い方はしない。

- 本機で指定されていない電池の使用
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用
- 本機の極性表示（プラスとマイナスの向き）とは逆向きに電池を使用

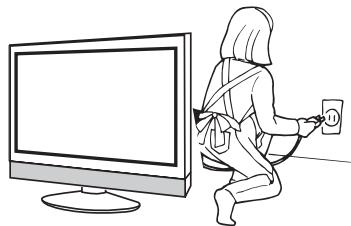
■長期間ご使用にならないときは必ず電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜くこと

お手入れするとき

⚠ 注意

■ お手入れの際は、安全のため電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜くこと

■ スイーベル回転範囲内に物を置いたり操作中に顔や手などを入れない

ものが倒れて壊れたり、けがの原因となることがあります。

■ 年に一度は内部の掃除を販売店にご相談ください

本機の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部の掃除費用については販売店にご相談ください。

■ 本機の上に重いものを置かない

倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

お守りください

■ 本機および本機の破片、付属品を廃棄するときは

本機および本機の破片、付属品などを廃棄する際は、必ず、販売店にご相談ください。

■ お部屋は適度の明るさで

暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。

■ 長時間連続して画面を見ていると目が疲れます

時々、画面から離れて目を休めてください。

■ 適度な音量で

特に夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを利用したりして、隣り近所に対し十分の配慮をして、生活環境を守りましょう。

■ 設置について

●傾斜面や、平坦でない面、カーペットなどの柔らかい面、変形した面などへの設置をさけてください。リモコンによるスイーベル動作が不安定になる場合があります。
●テレビをフローリングの床に直接設置することは避けてください。フローリングの材質・表面状態によっては床面とスタンドのスベリ止めが強く密着し、モニター部を持ち上げた際、フローリングの表面がはがれる場合があります。

■ 高温になるところに置かないでください

キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。
●直射日光や熱器具の近くなど。

重要

■ 搬送についてのご注意

引越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱とクッション材をご使用ください。

■ キャビネットのお手入れについて

●キャビネットの表面をベンジン、シンナーなどでふいたり、殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。
変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
●化学ぞうきんは、キャビネット変質の原因となりますのでご使用にならないでください。
●キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには、水で薄めた中性洗剤に布をひたしよく絞ってからふき取り、乾いた布で仕上げてください。
特に、次の洗剤などは塗装を傷めますので使用しないでください。
・アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹸、カーワックス類など

■ パネルのお手入れについて

●本機のパネル表面は、特殊なフィルムやコーティングが施されています。お手入れの際には、クリーニングクロスや柔らかい布（綿·ネル等）で軽く乾拭きしてください。
●化学ぞうきんやクリーナーは、その成分により、パネル表面が変質したり、フィルムや特殊コーティングがはがれたり、変色する恐れがありますので、ご使用にならないでください。
●硬い布で拭いたり、強く擦ったりしますと、パネル表面のフィルムや特殊コーティングが傷付きますのでご注意ください。
●指紋など油脂類の汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布をひたしよく絞ってからふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
●ガラス用クリーナーやスプレー式のクリーナーは、パネル表面が変質したり、フィルムや特殊コーティングがはがれたり、内部に侵入し、故障の原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

■ パネルの強度について

液晶パネル表面には保護ガラスがありません。指・手などで押したり物をぶつけると、液晶セル・ガラスが破損し、故障やけがの原因となります。

お知らせ

■ 面欠点について
パネルは、精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部に欠点（光らない点）や輝点（余計に光る点）が存在する場合があります。これは故障ではありません。

■ 残像について
静止画（画面表示、放送局側から送られる時刻表示など）やメニュー表示を短時間（約 1 分程度）表示し、映像内容が変わったときに前の静止画が残像として見えることがありますが、自然に回復します。故障ではありません。

■ パネル表面について
液晶テレビは、内蔵している蛍光ランプを点灯させることにより映像を表示しています。そのため、液晶パネルの表面温度が高くなる場合があります。

■ 輸送時について
本体を横倒しにして輸送した場合、パネルが破損する、または面欠点が増加する可能性がありますので、横倒しでの輸送はしないでください。

■ 赤外線通信機器について
赤外線コードレスマイクや赤外線コードレスヘッドホンなどの通信機器は、通信障害により、使用できない場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

■ ラジオについて
本機の近くでラジオを使用しますと、ラジオの音声に雑音が入る場合があります。本機より離してご使用ください。

■ 本機の温度について
本機は、長時間使用したときなどに、上部が熱くなる場合があります。手で触れると熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。また、熱で変形しやすいもの（オーディオテープ、ビデオテープなど）を上に置かないでください。

■ 低温度環境での使用について
液晶の特性により、周囲温度が下がるにつれ、液晶の応答速度が遅くなり、映像が残像として見えることがありますが故障ではありません。常温環境下に戻し、しばらくすると回復します。

■ 電話回線の接続が必要です
デジタル放送では、電話回線を使って視聴記録データの送信や視聴者参加番組への参加などができるシステムを採用しています。本機には NTT の 2 線式公衆電話回線で、プッシュ式またはダイヤル式（10 PPS/20 PPS) の電話機に接続の電話線を分配して接続してください。また、接続した電話回線は異常が発生しない限り、取り外さないでください。不特定多数の人が利用する公衆電話や共同電話、および 2 線式電話回線と接続しない電話機（携帯電話、PHS など）では利用できない場合があります。

■ インターネット網への接続が必要です。
地上デジタル放送では、インターネット網への接続により、さらに多様な双方向データサービスを利用することができます。本機で、このサービスを利用するには、常時接続の回線業者やインターネットサービスプロバイダーとの契約が必要です。インターネット網への接続をしていないと、双方向データサービスを利用できない場合があります。

■ 本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください
本機の受信周波数帯域（470MHz ～ 2072MHz）に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。
また、アンテナの接続時にアンテナケーブルや分配器、分波器などの機器を使用する場合は、共聴用のものをご使用ください。

■ 本機の電源プラグは常時コンセントに接続しておいてください
長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は、テレビの電源プラグをコンセントから抜いたままにしないでください。本機は電源オフ（スタンバイ／パワーセーブ）状態でも、自動的にデジタル放送の情報を受信したり、視聴記録の送信を行ったりする場合があります。

■ 天候不良によっては、画質、音質が悪くなる場合があります
雨の影響により衛星からの電波が弱くなっている場合は、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えます。（降雨対応放送が行われている場合）降雨対応放送に切り換わったときは、画面にメッセージが表示されます。
降雨対応放送では、画質や音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合があります。

■ 視聴記録の送信について

B-CAS（ビーキャス）カードに記録される視聴記録データは、定期的に電話回線を通じ（株）B-CAS（ビーキャス）〔(株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ〕へ自動送信されます。データ送信の電話料金は無料ですが、データ送信中は、同じ回線に接続の電話機は使用できません。

■ 操作できなくなった場合は

受信異常などにより、本機の操作ができなくなった場合は、本体の主電源ボタンで電源を「切」にし、スタンバイ / 受像ランプ消灯後、再度主電源ボタンを押してください。

■ ダウンロードについて

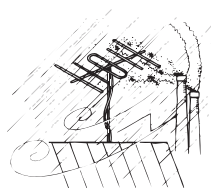
放送運用などに変更が生じた場合、本機のソフトウェアを更新して対応させるために、放送によるダウンロードサービスを行うことがあります。このサービスを受けるには、ご使用にならないときは、リモコンで電源を切った状態にしておくことをお勧めします。本体の主電源ボタンで電源を「切」にしたり、電源プラグを抜いた場合はこのサービスを受けられません。

■ 110 度 CS デジタル放送をご覧になるには

110 度 CS デジタル放送に対応したアンテナが必要です。また、ブースターや分配器などをご使用の場合は、2150MHz 対応の伝送機器が必要です。詳しくは販売店にご相談ください。

■ ご覧になる位置は

画面の縦の長さの 3 ～ 7 倍離れた場所でご覧になれば、見やすくて疲れにくくなります。

■ アンテナの点検・交換について

アンテナは風雨にさらされるため、美しい画像でお楽しみ頂くためにも点検・交換することをおすすめします。
特に、煤煙の多い所、潮風にさらされる所では、アンテナが早く傷みますので、映りが悪くなった場合は、販売店にご相談ください。

■ 本機に記憶される個人情報などについて

- 本機には、データ放送で登録した個人情報が記憶されています。本機を他人に譲渡したり、廃棄するときは「設定の初期化」90を実施して、個人情報を消去してください。
- お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気などのノイズの影響を受けたとき、または故障、修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータなどが変化、消失する恐れがあります。これらの場合の損害や不利益について、当社は何ら責任を負うものではありません。

■ ライセンス等について

- 本製品には、ACCESS 社製データ放送用 BML ブラウザ NetFront v3.0 DTV Profile を搭載しています。
  NetFront は株式会社 ACCESS の日本国における登録商標です。
  Copyright(C) 1996-2005 ACCESS CO.,LTD.
  ACCESS NetFront v3.0 DTV Profile

- SRS(●) WOW は、SRS Labs, Inc. の商標です。
  WOW は、SRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。WOW は SRS と TruBass の組み合わせ技術です。

留意点

■付属の B-CAS（ビーキャス）カードは、デジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合は、ただちに B-CAS（ビーキャス）「（株）ビーエス・コンディショナル アクセス システムズ」カスタマーセンターへご連絡ください。お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。
■万一、本機の不具合により録画ができなかった場合の補償についてはご容赦ください。
■あなたがビデオデッキなどで録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
■本機から電話回線などを通じて通信を行なうと、通話料金無料のフリーダイヤルでないかぎり、電話料金はお客様の負担になります。
■本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
■国外でこの製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。
■この説明書に記載の画面イラストは、実際に表示される画面と異なる場合があります。チャンネル番号、チャンネル名、番組名などを含め、実際に表示される内容については画面でご確認ください。
■本機の仕様および機能などは、ダウンロードなどにより予告なく変更することがあります。
■ダウンロードとは、デジタル放送を受信してダウンロードデータを取り込み、本機のプログラムを最新のものに書き換える機能です。お買上げ時はダウンロードを「自動」で行なう設定になっています。「しない」設定にもできますが、最新のプログラムでお楽しみいただくため、通常は「自動」の設定でご使用ください。

デジタル放送について

デジタル放送には、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送および地上デジタル放送があります。BS デジタル放送および 110 度 CS デジタル放送は、それぞれ東経 110 度に位置する放送衛星および通信衛星を利用したデジタル放送です。本機では、110 度 CS 対応 BS デジタルアンテナを使用することで、両方の放送を受信することができます。また、地上デジタル放送は、UHF 帯域の電波を使って放送されますので、デジタル放送のチャンネルに対応した UHF アンテナを使用することにより、受信することができます。

デジタルハイビジョン放送 ……………………………………………………………………

デジタルハイビジョンの放送フォーマットは走査線 1125 本（有効 1080 本）飛び越し走査の 1125i（1080i）と走査線 750 本（有効 720 本）順次走査の 750p（720p）放送の 2 種類があり、細部まできれいに表現され、臨場感豊かな映像を楽しめます。また、現行のテレビ放送とほぼ同等の画質のデジタル標準テレビ放送もあります。

多チャンネル放送 ……………………………………………………………………

デジタル信号圧縮技術により、従来のアナログ放送と比較して多チャンネル放送がおこなえます。デジタルハイビジョン放送やデジタル標準テレビ放送の多チャンネル化のほかに、独立データ放送やデジタルラジオ放送もおこなわれます。

データ放送 ……………………………………………………………………

文字や静止画によって必要な情報を選んで画面に表示させることができる新しい放送です。テレビ放送やラジオ放送の番組に連動したデータ放送と、独立したデータ放送の 2 種類のデータ放送があります。データ放送では、電話回線を使用した視聴者参加番組やショッピング、バンキングなどの双方向サービスもあります。(地上デジタル放送では、インターネット網への接続が必要な場合があります。)

サラウンド・ステレオ ……………………………………………………………………

音声信号圧縮技術 MPEG-2 AAC 方式の採用により、最大 5.1 チャンネルのサラウンド音声の番組も放送され、臨場感ある音声をお楽しみいただけます。ただし、5.1 チャンネルのサラウンド音声をお楽しみいただくには AAC 方式の光デジタル音声入力に対応したオーディオ機器を接続する必要があります。
[5.1 チャンネル：5 チャンネルステレオ＋低域強調チャンネル]

電子番組ガイド（EPG：Electronic Program Guide） ……………………………………

デジタル放送では、それぞれの放送に対して約 1 週間分の番組情報が送られることがあります。電子番組ガイドを利用し、画面上にそれぞれのデジタル放送の番組表を表示させ、番組表から番組を選んで詳細情報を表示させたり、視聴や録画したい番組を事前に予約したりすることができます。

BS デジタル放送について

BS デジタル放送は、東経 110 度に位置する放送衛星を利用したデジタル放送です。デジタルハイビジョン放送が中心であり、無料放送が多いのも特長です。（一部有料放送もあります）
基本的に放送事業者ごとの放送となるため、視聴契約や登録が必要な場合は放送事業者ごとに申し込みが必要です。

110 度 CS デジタル放送について

110 度 CS デジタル放送は、東経 110 度に位置する通信衛星を利用したデジタル放送です。BS デジタル放送とは異なり、デジタル標準テレビ放送が中心であり、映画、スポーツ、エンターテイメントなど有料専門チャンネルが多いのが特長です。（一部無料放送もあります）

地上デジタル放送について

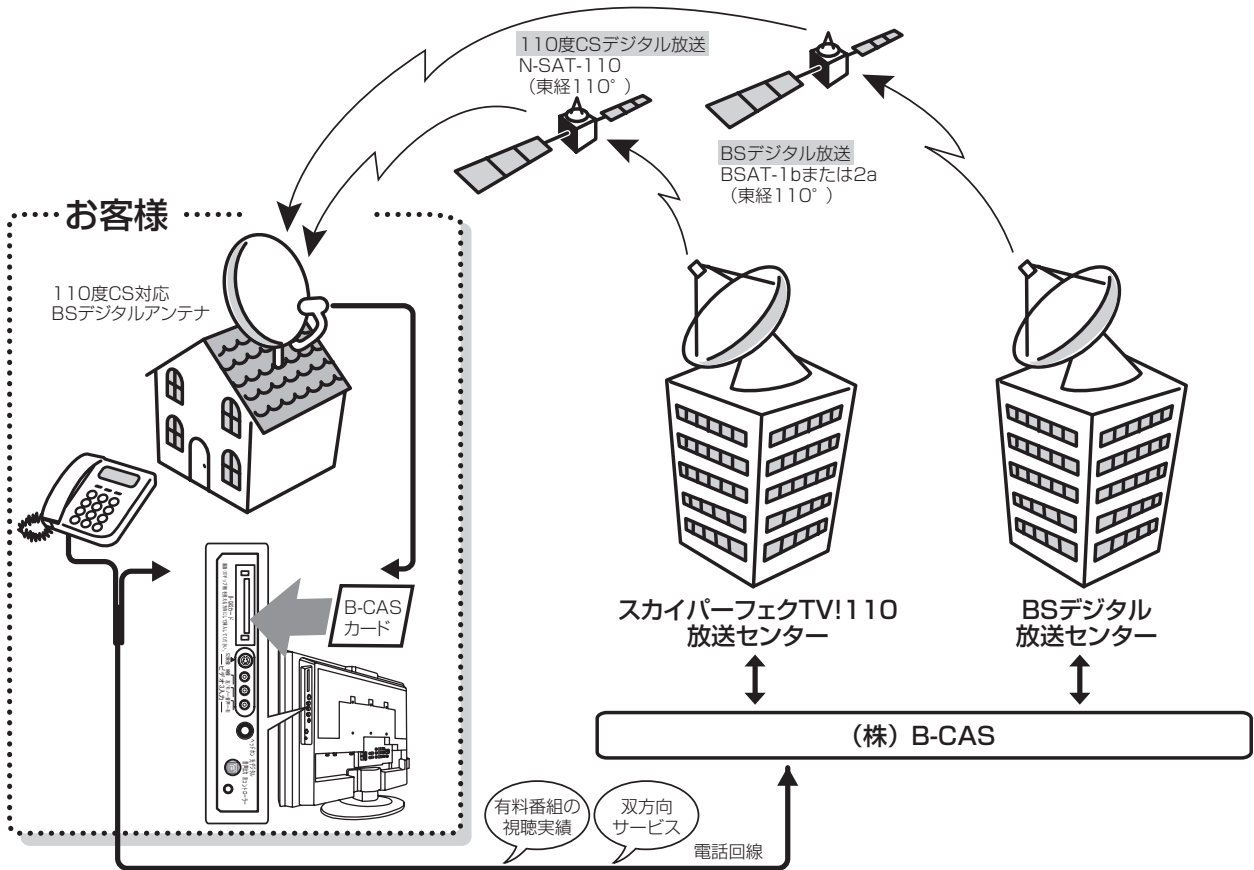
2003 年 12 月から順次、放送開始予定の地上波の UHF 帯を使用したデジタル放送です。デジタルハイビジョン放送に加えて、データ放送や双方向データサービスなどが予定されています。地上アナログ放送に比べてゴーストなどの影響を受けにくいのも特長です。(有料放送はありません。)

お知らせ

110 度 CS デジタル放送は、従来の CS デジタル放送　スカイパーフェク TV!(スカパー !)（東経 128 度、124 度の JSAT-3、JSAT-4 を利用）とは異なる放送です。従来のスカイパーフェク TV!(スカパー !) 放送を受信するには、専用デジタルチューナーが必要です。本機では受信できません。

受信契約について

B-CAS カードによる限定受信システム（CAS）のしくみ

BS デジタル放送および 110 度 CS デジタル放送では、限定受信システム（CAS）により本機に付属の B-CAS カードを挿入しておくと、有料番組の契約や購入状況情報が B-CAS カードに記憶されます。その情報は電話回線を使って（株）B-CAS へ自動送信され、管理されます。

B-CAS カードの登録
本機に付属の B-CAS カードの台紙の一部がユーザー登録用はがきになっています。台紙に記載の文面をよくお読みのうえ、ユーザー登録はがきに必要事項を記入･押印してポストに投かんし、B-CAS カードを必ず登録してください。（登録料は無料です）

デジタル放送を視聴する場合には、必ず B-CAS カードを挿入してください。
B-CAS カードは、有料放送の課金や放送局からのメッセージの管理等のほか、著作権保護の為のコピー制御にも利用されています。

受信契約について

BS デジタル放送の有料放送視聴の手続きについて

●ＷＯＷＯＷ､スター･チャンネルなどのBSデジタル放送の有料放送サービスを受信するためには､B-CASカードの登録のほかに、個別の受信契約が必要となります。
●有料放送を視聴するには、お客様の視聴したい番組を放送している放送局へ加入申し込みをして契約する必要があります。本機に同梱されている加入契約書に必要事項をご記入のうえ、ポストに投かんしてください。
●詳しくは、それぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。
●お問い合わせの際は、電話番号はお間違えのないようにお願いいたします。

2006 年 3 月現在の BS デジタル放送局（ＮＨＫと有料放送局）の電話番号、ホームページアドレスおよびチャンネル番号は、次のようになっております。

<table>
<tr><th>BS 放送局</th><th>お問い合わせ電話番号／
ホームページアドレス</th><th>BS 放送局</th><th>お問い合わせ電話番号／
ホームページアドレス</th></tr>
<tr><td>NHK BS1
NHK BS2
NHK デジタルハイビジョン
（101、102、103ch）</td><td>0120 － 151515
（受信契約専用フリーダイヤル）
受付時間　9:00 ～ 20:00（年中無休）
http://www.nhk.or.jp/ps/</td><td>ＷＯＷＯＷ
（191、192、193ch）</td><td>0120 － 480801（フリーダイヤル）
0570 － 008080（ナビダイヤル）
（携帯電話などをお使いの方は、
045 － 683 － 8080）
受付時間　9:00 ～ 20:00（年中無休）
http://www.wowow.co.jp/</td></tr>
<tr><td colspan="2">NHK 衛星放送受信契約をされていない方は、NHK と衛星放送受信契約が必要です。</td><td colspan="2">ＷＯＷＯＷはテレビ放送のみの視聴申し込みが必要な放送です。ラジオ放送（491、492ch）と独立データ放送（791、792ch）は無料放送です。</td></tr>
<tr><td>スター・チャンネル BS
（200ch）</td><td>0570 － 010 － 110（ナビダイヤル）
（携帯電話などをお使いの方は、
045 － 339 － 1555）
受付時間　10:00 ～ 20:00（年中無休）
http://www.star-ch.co.jp/pc/star</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">スター・チャンネル BS はテレビ放送のみの視聴申し込みが必要な放送です。独立データ放送（800ch）は無料放送です。</td><td></td><td></td></tr>
</table>

お知らせ

● NHK では、BS デジタル放送のメッセージ機能を利用して受信確認を行っています。すでに NHK と衛星放送受信契約されていても、本機に同梱されている「B-CAS カードユーザー登録はがき」をお送りいただけない場合、または、はがきを送っても下部の「はい」に○がついていない場合は、B-CAS カードを挿入して 30 日経過後、NHK － BS デジタル放送のチャンネルに合わせると、画面左下にＮＨＫへのご連絡をお願いするメッセージが表示されます。このメッセージは、画面に表示される NHK のフリーダイヤルにお電話いただき、B-CAS カード番号、住所、お名前、電話番号などをお伝えいただければ、表示されなくなります。
●一部のデータ放送など、無料放送でもユーザー登録が必要な場合があります。詳しくは、それぞれの放送局へお問い合わせください。

110 度 CS デジタル放送の有料放送視聴の手続きについて

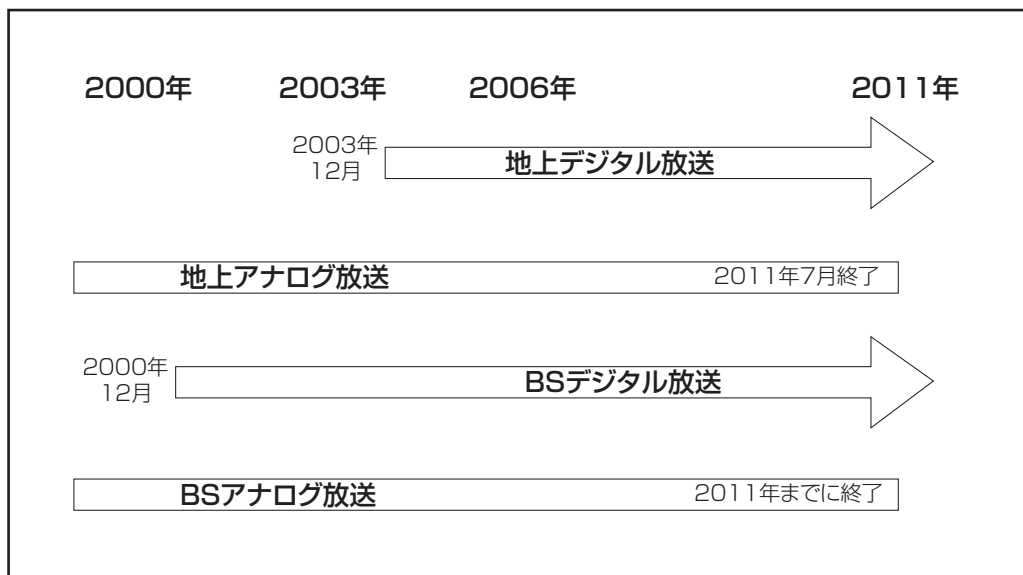
● 110 度 CS デジタル放送の有料放送サービスを受信するためには、BS デジタル放送と異なり、個別チャンネルの放送事業者毎ではなく、「スカイパーフェク TV ！ 110(スカパー!110)」が、放送チャンネル受信契約の代行を行うこととなります。
● 110 度 CS デジタル放送では、チャンネル毎の受信契約のほかに、個別に契約申込されるよりも視聴料金がお得なパック契約が用意される場合があります。
●詳しくは、カスタマーセンターへお問い合わせください。
●お問い合わせの際は、電話番号はお間違えのないようにお願いいたします。

2006 年 3 月現在の 110 度 CS デジタル放送のカスタマーセンター電話番号とホームページアドレスは次のようになっております。

110 度 CS デジタル放送	お問い合わせ電話番号／ホームページアドレス
スカイパーフェク TV ！ 110(スカパー!110)･カスタマーセンター	0570 ー 012 ー 110 または 045 － 339 － 0002 受付時間　10:00 ～ 20:00（年中無休） http://www.skyperfectv110.jp/

アナログ放送からデジタル放送への移行について

デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大都市圏の一部で 2003 年 12 月から開始され、その他の地域でも、2006 年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は 2011 年 7 月に、BS アナログ放送は 2011 年までに終了することが、国の方針として決定されています。

お知らせ

- ●地上デジタル放送は、現在の地上アナログ放送との混信をさけるために、当初は非常に小さな出力で放送が開始され、段階的に送出出力が上げられていく予定です。このため、放送開始当初は受信エリアが限定されます。
- ●ブースターなどをご使用されている場合は、段階的に送出出力が上げられた際に、ご使用のブースターなどのレベル調整が必要な場合があります。このような場合は、お買い上げの販売店またはアンテナ工事業者にご相談ください。